

星田山手ボランティアニュース



2013年 4月号(第22号 2013.04.20 発行)

星田山手ボランティア・街づくり推進会
発行責任者: 内野 藤彰
編集責任者: 橋本 勇

はじめに、

私達が「星田山手ボランティア・街づくり推進会」を発足させて既に6年が経過し、今年の5月の顔見せ総会で7年目を迎えます。この街も高齢化が進んでいますが、ボランティア活動で参加者や地域が元気で明るくなるとともに、星田山手が住みよい街になることを目指しております。このボランティア活動も年々充実して参加者も増加し、地域内外の方々からは各行事を楽しみにして頂いています。これからもこれらの活動、行事を通じて地域住民がお互いに親睦を図り、安全で安心して暮らせる住みよい街づくりを目指して行きたいと思っております。皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

悪天候の中、「第5回傍示川花見大会」を開催しました

今年の冬は全国的にも例年より寒い日が続き、当初、このような状態では桜の花も開花がかなり遅れるのではないかとこの予測がありました。しかしながら3月末には急速に暖かくなり桜の開花が逆に1週間ほど早まりそうだと云うことで約1ヶ月前から花見の準備をして花見弁当の予約受付を開始しますと昨年より約70名ほど多くの380名の方からの予約がありました。実はこの日たまたま交野マラソンが開催されるということで花見参加者は昨年よりかなり減るのではないかと考えておりましたが結果的には嬉しい誤算でした。4月の第1週当たりには既に桜は満開となり当日(4月7日)には多分散ってしまっているだろうと思っておりましたが、意外と我慢強く残ってくれていました。しかし当日に近づくにつれ報道される天気予報が気になり出しました。前日と当日は台風並みの強い風が吹くとの予報が大きく報道され、前日も関係者が集まり対応を話し合いましたが豚汁接待は中止、テントの設営も中止で様子を見るということで当日を迎えましたが、朝の内小雨は降ってはいましたが幸い天候も回復傾向にあり、テントも急遽設置し、椅子テーブルを多く準備して対応致しました。時間が経つにつれシートに腰を降ろして残り少ない桜の花を楽しめる方も多くなり、春の嵐の後の大変な花見大会でしたが良かったと思っております。

みなさまご苦労様でした。

新しく6本の桜が植樹されました

第5回傍示川花見大会に先立ち今年は6本の桜の追加植樹がされました。合計101本の桜の木が皆さんの浄財で植えられた事になります。従来67本とで総合計168本の見事な桜並木が出来ました。また上流の対岸には交野市の寄付で30本の河津桜も既に植えられています。



来賓の方の挨拶もやや短めでした



桜の花も散り葉桜になってきました



今回は足元が悪いため椅子を多く準備しました



悪天候でも皆さん楽しんで頂きました

花見に先立ち今年最初の傍示川清掃を行いました

4月2日(火)に今年最初の傍示川の草刈り・清掃を行いました。4月7日には第5回の傍示川花見大会を実施することもあり、参加頂いた40人のボランティア会員が半日かけて綺麗に清掃して頂きました。

